資源物戸別収集の経過報告

1. 実施1か月間の状況(10月1日~10月31日 23日間)

市民からの問合せ件数

約 5,670 件

(内訳) 電話等での問合せ等

約5,610件

メール等による間合せ等

約60件

(関連事業の状況) 資源物戸別収集開始による影響

- ・集団回収の推移・・9月末345団体 10月末334団体 11団体減少 (10月1日以降、自治会等の団体が辞退したため)
- ・ふれあい収集の推移・・9月末418世帯 10月末423世帯 5世帯増加 (10月1日以降、対象要件を要介護1に拡充したため)
- ・集積所の状況 市有地集積所の推移・・9月末 82 箇所⇒ 10 月末 10 箇所が継続 私有地集積所の推移・・9月末 約 900 箇所⇒10 月末 177 箇所が継続
- ・カゴに関する飛散や事故等 開始後、0件
- ・収集作業に伴う事故等 開始後、0件

2. 収集量の推移(速報値)

<対前年度同月比>

収集品目	収集量(単位:kg)			
	令和元年 10 月	平成 30 年 10 月	増減率	
古紙・古布	424, 550	566, 880	△25.1%	
びん	115, 820	144, 410	△19.8%	
缶	39, 740	44, 870	△11.4%	
ペットボトル	63, 900	62, 200	2.7%	

<対前月比>

収集品目	収集量(単位:kg)			
	令和元年 10 月	令和元年9月	増減率	
古紙·古布	424, 550	516, 980	△17.9%	
びん	115, 820	141, 030	△17.9%	
缶	39, 740	43, 300	△8.2%	
ペットボトル	63, 900	69, 980	△8.7%	

- 3. 課題への対応

 - ・未回収ごみの対応 ・・収集作業の徹底により改善

 - ・不適切な排出の対応 ・・市職員によるチラシ配布、現場指導により改善 ごみの排出者への個別指導により改善
- 4. 今後の対応

市民への周知について

- ·市報 12 月 15 日号掲載予定 「資源物戸別収集ワンポイント (出し方の周知)」
- ・市ホームページ及びごみ分別アプリ 「資源物戸別収集が始まっております(制度の継続周知)」